

広島県経済財政会議（テーマ別懇談会） 議事要旨

- 開催日時：平成26年8月8日（金） 14:00～16:00
- 開催場所：広島県庁北館2階 第2会議室
- 出席者：（主宰）湯崎 英彦 広島県知事
（委員）神原 勝成 一般財団法人ツネイシみらい財団代表理事 ※敬称略
- 議事要旨（委員の主な意見等）
懇談テーマ 「人口減少社会における持続可能な地域づくり」について
～首都圏からの定住促進策をはじめとした転出超過対策～

懇談会の冒頭、神原委員より、懇談テーマに関する提案をいただいた後、出席者間で意見交換を行った。

委員提案の概要

転入人口の具体的な目標を立てて取り組むとともに、持続可能な地域づくりのためには、特に将来の経済活動を支える若い世代や子育て世代を、県外や国外から積極的に誘致するべきである。

意見交換での主な意見

（定住コンシェルジュの設置と手厚いサービスの展開について）

- 人口減少社会における持続可能な地域づくりという観点から、20～40代の方に焦点を絞るとともに、「雇用、教育、住居」の総合コンシェルジュとしてきめ細かいサービスを提供することが重要である。
- プロモーション活動に加え、他県との差別化を図る上でも、より手厚いサービスを展開し、より多くの成功事例を創出することが重要である。

（企業のサテライトオフィスや小規模事業者の誘致について）

- 広島県のアドバンテージを生かして、保養施設的なサテライトオフィスを誘致するなど、地域ごとの魅力を生かした取組を行ってはどうか。
- ベンチャー企業は資金調達に苦心している。県外からの移住を条件とした支援制度の創設は、インパクトもある。

（留学生の県内企業への就職による定着の徹底強化について）

- 海外に拠点を持つ県内企業に、その国出身の留学生をマッチングしてはどうか。
- 外国人採用に踏み込めない企業の背中を後押し、門戸を広げるために、外国人の採用に対する支援など企業へのインセンティブの付与や、インターンシップ受入の強化が考えられる。
- 労働者の確保が今後益々難しくなっていく中で、企業側も外国人雇用に対して積極的になりつつあると思う。また、県内企業の海外展開は増加傾向にあるため、こうした企業との連携を図ることは可能ではないか。